



令和 7 年度 定時社員総会を開催しました



6 月 21 日（土）14：00 から京都経済センターにて、京都府文化生活
部安心・安全まちづくり推進課課長中岡政貴様、京都市文化市民局文化
市民部くらし安全推進課課長一原斗誉秀様、京都府警察本部犯罪被害者
支援室室長加藤誠様を御来賓に迎え、令和 7 年度定時社員総会を開催し
ました。

第一部として①令和 6 年度事業報告、②令和 6 年度決算報告および監
査報告、③基本財産の取崩しについて審議が行われ、すべて承認されま
した。続いて、HP とパンフレットの全面改訂および新たにボランティア
が中心になって作成した「犯罪被害者支援用語集」のお披露目が行われました。

第二部として、犯罪被害者支援功労者表彰ならびに感謝状の贈呈が行われました。

今回の「はーとめーる」では、定時社員総会で説明・審議された内容の特集（P 1～6）いたします。



1. 令和 6 年度活動報告

▶ 主な取り組み（抜粋）

1. 組織体制の変更

令和 5 年度に支援局と事務局の 2 局体制に再編。令和 6 年度では、理事が務める「委員会」方式から専務理事・両局長・次長による「局長会議」による自己完結方式に変更した。

これによりセンターの意思決定の迅速化・成熟化が進み、理事長答申へのガバナンスが強化することができた。

2. 拠点の整備（情報・現金のリスクマネジメント強化）

個人情報保護強化のための規程の整備と、職員・ボランティアへの周知。インターネットバンキングシステムの導入により、ネット上で振込や入金確認を容易にし、業務の効率化を図るとともに現金保管リスクを大幅に減少した。

3. 財政基盤の強化

センターの自助努力による収入が前年比 200 万円強増となった。センターの支援活動状況・財政状況の積極的な開示・周知により、多くの関係機関・関係者から協力が得られた。

4. 人的基盤の強化

職員（支援局 2 名、事務局 1 名）の増員等により、拠点の整備、財政基盤の強化、被害者支援活動の充実を図ることができた。

5. マネジメントの変革

中・短期計画の導入により PDCA/ 予算を意識した「事業の計画と実行」・予算管理が前進した。

（※ PDCA = Plan, Do, Check, Action）

6. 広報啓発活動

各警察署・市町村に広報啓発活動の強化を依頼。各々での広報啓発活動に加え、3 か所で警察署・行政・センターが共同で街頭活動を実施した。

7. ほくぶ相談室での電話相談

ほくぶ相談室での電話受付は一旦停止し、犯罪被害者サポートダイヤルに転送する方式に変更。

ほくぶエリアにおける市町村担当者による支援施策推進会議を実施し、広報啓発の強化に努めていただいた。

▶ 支援活動件数 **2,116 件。10 年前に比べると 2 倍に！**

令和 6 年度の電話、面接、直接的支援の合計が 2,116 件に。

ついに 2,000 件を突破。前年比 106% 増（京都アニメーション放火殺人事件裁判関連を除くと 128% 増）

性犯罪による被害者支援の増加が主な増加要因。

支援要請の増加に対応していくため、職員・ボランティアの増員・早期育成が急務になっている。



令和6年度 罪種別京都犯罪被害者支援センター 支援件数

備考：上段 令和6年度 中段 令和5年度 (下段) 令和4年度

犯 罪 類 別	①殺人 (傷害致死含む)	②強盗 (致死含む)	③不同意性交等	④不同意わいせつ	⑤その他の性暴力	⑥暴行・傷害等	⑦危険運転致死傷	⑧交通事故犯	⑨財産的被害	⑩DV	⑪ストーカー	⑫虐待	⑬その他	合 計
電話相談 ※メール含む	44 170 (124)	16 16 (0)	186 94 (83)	104 67 (64)	15 25 (36)	226 252 (178)	0 2 (7)	18 22 (19)	96 74 (47)	31 27 (13)	20 28 (7)	41 26 (44)	117 99 (105)	914 902 (727)
面接相談	27 78 (33)	19 17 (0)	168 39 (48)	91 53 (51)	4 8 (23)	81 94 (33)	0 1 (6)	12 10 (20)	13 32 (8)	42 44 (21)	11 17 (5)	5 0 (6)	25 6 (20)	498 399 (274)
直接的支援	53 232 (128)	62 28 (0)	227 107 (68)	146 116 (53)	12 21 (9)	118 100 (94)	8 9 (31)	19 19 (33)	2 5 (11)	17 17 (2)	26 37 (2)	6 3 (1)	8 1 (16)	704 695 (448)
合 計	124 480 (285)	97 61 (0)	581 240 (199)	341 236 (168)	31 54 (68)	425 446 (305)	8 12 (44)	49 51 (72)	111 111 (66)	90 88 (36)	57 82 (14)	52 29 (51)	150 106 (141)	2,116 1,996 (1,449)

→ 令和4：435件 (30%) → 令和5：530件 (26.6%) → 令和6：953件 (45.0%)

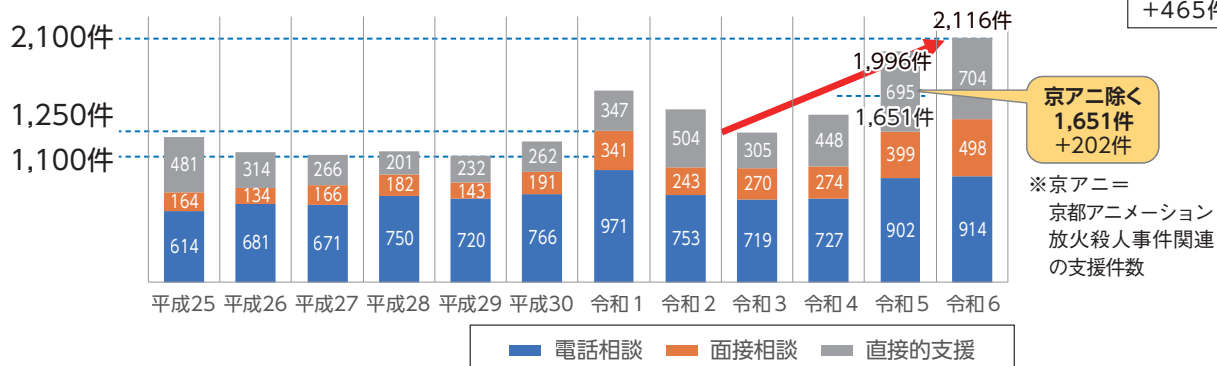
性犯罪の支援件数
(合計) に占める比率

2.14倍

全支援件数のうち性犯罪関連が45%に。
3年前の2.14倍の件数になりました。

京都犯罪被害者支援センター支援活動件数の推移

支援件数	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和 1	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和6 - 令和5
電話相談	614	681	671	750	720	766	971	753	719	727	902	914	+12
面接相談	164	134	166	182	143	191	341	243	270	274	399	498	+99
直接的支援	481	314	266	201	232	262	347	504	305	448	695	704	+9
合 計	1,259	1,129	1,103	1,133	1,095	1,219	1,659	1,500	1,294	1,449	1,996	2,116	+120 (+465)



平成25～平成30年度の支援件数は、1,100～1,200件/年で推移。令和6年度は2,116件と約2倍に！
特に直接的支援件数が3倍以上に増加。支援員の負荷が増大しています。

2. 人材育成および広報啓発活動の取り組み

ボランティア育成を目的とした研修会を多く実施し、ネットワークの外部研修にも積極的に参加してもらいました。以下の支援員人数推移でみると「犯罪被害相談員（以下「相談員」・青色）」は減少しており、「直接支援員」そして「相談員」への早期育成が課題となっています。

そのためにも研修機会の提供に加え、ボランティアの皆さんへの「活躍の場の拡大によるOJT」の強化を図っていきます。

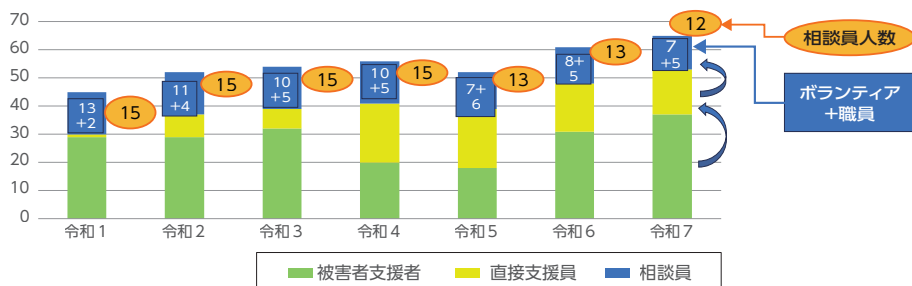
また、コロナ終息に伴い外部機関からの講演要請が増加してきています。

犯罪被害者支援活動が広く社会に根付くよう啓発活動にも注力していきます。

▶令和6年度 外部機関向け講師派遣（広報啓発） 28回

日時	内容	日時	内容	日時	内容
11月28日	宇治市 公開講座	7月3日	ノートルダム女子大学 現代人間学部心理学科4年次	5月17日	第8管区海上保安本部
1月28日	京田辺市 公開講座	7月26日	佛教大学 ソーシャルワーク演習	8月23日	和歌山県犯罪被害者等支援担当職員研修
6月10日	京都拘置所	10月23日	龍谷大学（文学部）	5月8日	京都府社会福祉事業団 東山母子生活支援施設
7月3日	京都刑務所	11月18日	龍谷大学（法学部）	11月9日	京都社会福祉士会
7月12日	京都拘置所			11月14日	京都弁護士会司法修習生研修
7月23日	京都拘置所			1月17日	なら犯罪被害者支援センター
12月6日	京都刑務所 受刑者700名対象			5月8日	東山ファミリーホーム研修会
1月15日	京都府検察庁司法修習生研修			8月11日	第23回日本トラウマティック・ストレス学会
11月14日	綾部犯罪被害者支援連絡協議会			8月22日	舞鶴市公民館人権セミナー
11月20日	城陽犯罪被害者支援連絡協議会			2月4日	紫明ライオンズクラブ
11月26日	相楽犯罪被害者支援連絡協議会			3月19日	企業防衛情報連絡協議会
11月29日	下京犯罪被害者支援連絡協議会				
11月29日	京丹後犯罪被害者支援連絡協議会				

▶支援員人数推移（職員含む）



- ・支援員の総人数は、増加傾向にあるが相談員は減少。
- ・ボランティアの相談員は、現在7名登録しているが実働は2～3名にとどまる。
- 被害者支援者を、早期に直接支援員そして相談員に成長していただくことが肝要。そのためにボランティアとして活躍できる機会を増やしていくことが課題である。

3. 令和6年度決算と令和7年度予算および基本財産の取崩

令和6年度の収支は、970万円の基本財産を取崩したことにより、実質収支残は76万円と、ぎりぎり黒字を確保しました。

大口の寄附を年度末にいただけたことなどから、令和7年度への繰越金は606万円へととなりました。おかげで令和7年度収支は、前年より大幅に改善しますが、560万円の赤字見込みです。600万円を基本財産から取崩し充当することで黒字にしたいへん厳しい予算です。



▶ 1. 令和6年度実績と令和7年度予算

単位千円

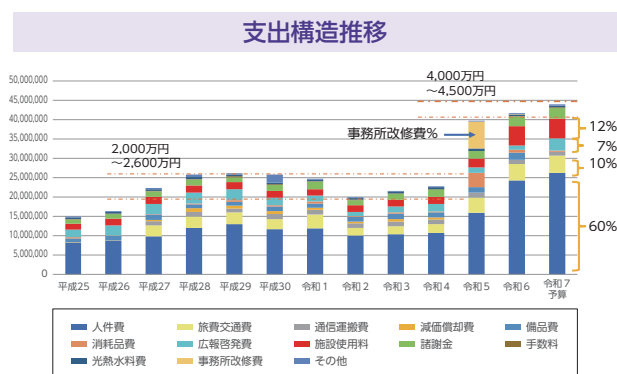
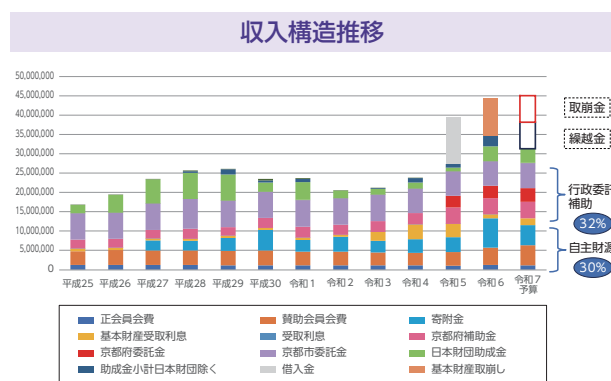
	令和6予算	令和6実績	令和6予算-実績	令和7予算(実質)
収入計	31,499	34,671	△3,172	32,339
繰越金	2,250	3,353	△1,103	6,060
取崩	9,700	9,700	0	0
最終収入計	43,449	47,724	△4,275	38,399
支出合計	42,795	41,664	1,131	44,017
収支合計	654	6,060	△5,406	△5,618

令和6実績の収支合計が606万円と多額になった要因

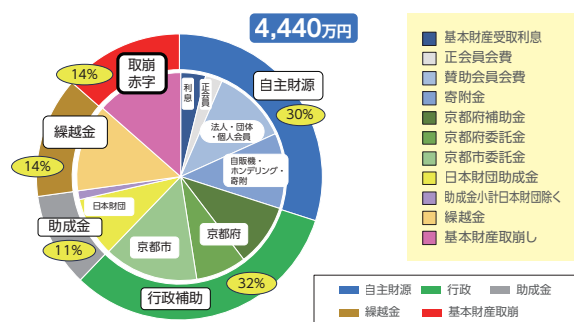
- ①令和6年度事業として予定したHP・リーフレット改修等助成金の支出が令和7年6月にズレ込み→195万円の未払い
- ②期末に大口の寄附収入→寄附金の大幅増253万円
- ③日本財団からの助成金 100万円返金免除
合計530万円→これら想定外の収入増がなければ、76万円の残(=令和7年度繰越金)

▶ 2. 基本財産からの取崩額と今後の考察

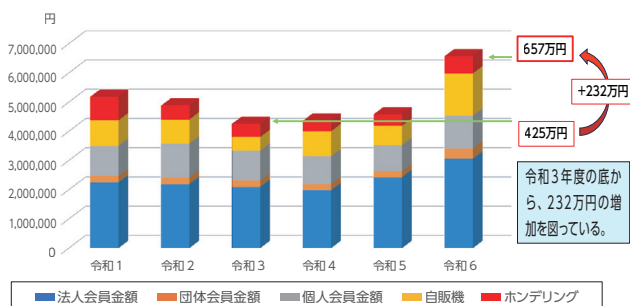
令和7年度赤字は561万円 → 基本財産からの600万円を取崩し補填する。



▶ 2025年度 収入予算内訳



▶ 自主財源（寄附金除く）合計推移



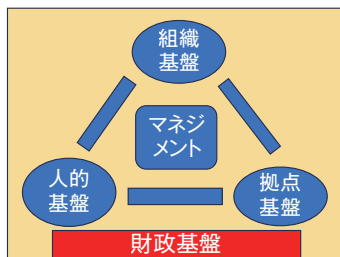
▶ 収益課題総括

- ・支援件数は10年前の2倍となり、人件費・交通費・賃借料や会場費を中心に支出が大幅に増加するも、無償活動のため収入は増えず赤字が拡大しています。
- ・基本財産の取崩で赤字補填していますが、後7年で限界となります。
自主財源（賛助会員会費・寄附型自動販売機からの寄附金・ホンデリングなど）は、多くの市民の皆様のご支援をいただき、令和3年に比べ230万円強の大幅増額となりました。ご支援いただいた皆様に深く感謝いたします。
しかし赤字解消にはまだまだ遠く大変厳しい状況です。
- ・他府県のセンターでは収入のうち、行政からの補助金等が50%を超える中、京都は35%と低く、行政の積極的な財政支援が求められます。

4. 令和7年度実行計画

▶ 中期目標1. KVSCの改革（令和5年度～令和7年度） ～永続的成長ができるよう「組織的運営」への質的転換を図る～

〈5つのインフラを再構築する〉



重点課題	小項目	令和7年度の取り組み
1. 組織体制の変更	①局長会議の開催	継続実施…定着へ
	②責任権限の明確化	規定化

重点課題	小項目	令和7年度の取り組み
2. 拠点の整備	①IT化の推進	PC共有フォルダー内の過去資料の整理
	②ファイリング整備	ファイリングルールの策定
	③生産性向上	・オンラインでの会員登録申し込み ・会費の自動引き落としの検討 ・共通メールの処理/未処理の確認
3. 財政基盤の整備	①営業活動の継続	訪問先拡大のため、業界や協会の上部組織から加盟組織への開拓を進める。
	②収益構造の見直し	京都府・京都市に対して、委託金・補助金に加え、協賛金の支給や自販機設置を依頼する。
	③支出見直し	予算立案と管理を事業単位、経費単位で実施
4. 人的基盤の強化		職員とボランティア全体の育成を図る。
5. マネジメント変革	①PDCAが回せる組織へ	個人単位ではなく局単位での作成を進め、テーマ単位の改善策の検討を継続する。
	②予算と実行計画の紐づけ	上記テーマ単位の検討に際して予算を含めた計画立案/評価を行う。

▶ 中期目標2. 事業の成長 令和7年度実行計画 現有事業の強化（総点検から改善へ）

重点課題	小項目	令和7年度の取り組み	重点課題	令和7年度の取り組み
1. 広報活動	1-1 京都府実行計画との連携	京都府実行計画に基づく協議ができるよう京都府に依頼する。	4. 研修体系の再構築	ボランティア養成講座を半年間の集中型に改善する。 初任者研修の試行 市町村研修 エリア別実施
	1-2 北部エリアの活性化	北部5市2町の賛助会員 →京丹後市加入・連携協定を確実に進め、残る宮津市の会員化を狙う。 広報啓発活動の協働を継続して推進する。（ほくぶプロジェクト）	5. 自助グループ検討	令和8年度立ち上げに向けて準備を進める。
	1-3 広報活動の改善	はーとめーるの改訂（年2回12ページカラー化） HPおよびパンフレットの全面改訂（6月実施） 常時掲示可能なポスター展開の検討実施	6. 支援活動の分析	支援活動をex.エリア別・時間帯別・情報入手先別などの分析を進め、改善策を導き出す。
2. 啓発活動	2-1 啓発	出前講座は、京都市事業とのマッチングを検討するが、基本的に令和8年以降に先延ばしする。	7. カウンターパートナーとの連携強化	・支援調整会議の総括と運営改善 ・京都府・京都市・京都府警と年1回以上の定例開催の実施
	2-2 講座・フォーラムの見直し	フォーラムの2部構成の可否・会場の変更・広報活動の強化により来場者200名を目指す。公開講座の在り方を検討する。	8. 用語集の作成	令和7年6月発行 製本化に向け事務局関与KVSCのみならず広く関係団体に配布する。
3. 総合的人材育成	ボランティアの育成・活用	相談員の増員を目指して、現状分析・改善策の検討・実施を図る。 ボランティア募集方法の改善を図り2桁人を目指す。		
	職員の育成	一人一人の状況を踏まえ、OJTとして経験を積むとともに、必要な研修機会を設ける。		

令和6年度から中期計画を立て、それに基づき短期計画を策定し、様々な活動を実施しました。その総括をもとに令和7年度実行計画を立てています。特に中期目標1「KVSCの改革」は今年度完了計画であり、5つのインフラ再構築の完成に注力します。

中期目標2「事業の成長」では、増加している支援要請に応えられるよう人材の確保と育成に注力するとともに、犯罪被害者支援活動を広く社会に浸透させていくために、HPやリーフレットなど広報ツールを一新し、広報啓発活動を強化拡大していきます。

トピックスとして、昨年来ボランティアの皆さんを中心に作成してきた「犯罪被害者支援用語集」を完成配布するとともに、自助グループの令和8年度立ち上げに向けた準備を開始します。

令和7年度功労者表彰

犯罪被害者支援功労者表彰は、表彰規定第2条1項に基づき、多年にわたり犯罪被害者支援活動に尽力し、特に顕著な功労があったと認められる犯罪被害相談員、犯罪被害者直接支援員に授与しています。

令和7年度は、平成25年から活動されてきたボランティア15期生の酒井豊彦さん、山本文敏さんと、当センター支援局次長の西池紀子さんが功労者表彰を受けられました。



左より
酒井豊彦さん、山本文敏さん、西池紀子さん

令和7年度感謝状贈呈

感謝状は、多額のご寄附をいただいた個人様、団体様にお贈りしています。

今年度は、株式会社奥村組様、三洋化成工業株式会社様、株式会社JPF 京都事業所様を社員総会にお招きし、山下理事長が感謝状を贈呈しました。

株式会社奥村組様は平成29年より永年にわたり、工事現場に開設される現場事務所に「被害者支援自動販売機」を設置いただいております。三洋化成工業株式会社様は令和5年1月より京都では第1号となる「交通安全啓発自動販売機」を2台設置いただいております。株式会社JPF 京都事業所様は令和6年4月より「交通安全啓発自動販売機」を向日町競輪場に3台設置いただいております。3社とも、それらの自動販売機を通じた多額の寄附金をいただきました。ありがとうございます。



株式会社奥村組様



三洋化成工業株式会社様



株式会社 JPF 様

トピックス

■ 相談電話の受付時間が変更となりました。

7月1日より、『犯罪被害者サポートダイヤル』と『京都市犯罪被害者総合相談窓口』の受付時間を1時間前倒しし以下のとおりとなりました。

- ・犯罪被害者サポートダイヤル：0120-60-7830 月～金曜 12：00～17：00
- ・京都市犯罪被害者総合相談窓口：075-451-7830 月～金曜 12：00～17：00

『犯罪被害者サポートダイヤルほくぶ相談室』は変更ありません。

■ 『犯罪被害者支援用語集』を発行しました。

被害者支援に関する約300語を簡潔に解説した『犯罪被害者支援用語集』を6月に発行しました。

この用語集は、ボランティアの皆様や職員等の支援員が、電話相談や直接支援などの被害者支援活動を行う際に出てくる専門用語等の意味を簡単に調べられる小冊子が欲しいという動機から、自分たちに役立つものを自ら作成したものです。

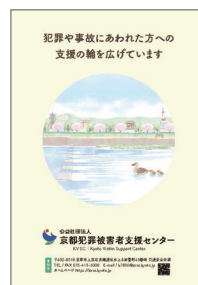
支援の場でよく使われる用語を各々の経験から選出し、被害者支援の観点から、わかりやすさを重視した解説文を作成しました。

関係各所にも配布させていただきましたので、ご活用いただければ幸いです。



■ センターのリーフレットをリニューアルしました。

被害にあわれた方に当センターの支援をご案内するリーフレットと、当センターの活動状況等をご案内し、皆様からの支援協力を呼び掛けるリーフレットを、従来よりわかりやすく、親しみのもてるよう7月より全面的にリニューアルしました。京都らしいイラストが目印となっていますので、ぜひご覧ください。



『犯罪被害者支援用語集』と2種類のリーフレットは、公益財団法人京遊連社会福祉基金様の助成をいただいて発行しました。厚く御礼申し上げます。

■ ホームページをリニューアルしました。

6月20日、当センターのホームページを、スマホでは使いづらい、必要な情報にたどりつけないなどの課題を解決するとともに、使いやすいデザインとページ構成を意識し、全面リニューアルしました。スマホやタブレットでも快適に閲覧していただけるようになりましたので、ぜひ一度ご覧になってください。

ホームページのリニューアルは、社会福祉法人中央共同募金会様の赤い羽根福祉基金特別プログラム「被害者やその家族等への支援活動助成」をいただき実施しました。基金にご寄附くださった皆様にご心より感謝申し上げます。



トピックス

■ 山下理事長 「警察協力章」受章

当センターの山下俊幸理事長が、警察庁長官から民間の方に贈られる最高位の表彰「警察協力章」を受章しました。

その伝達式が7月11日、京都府警察本部で行われ吉越清人本部長から協力章が手渡されました。

山下俊幸理事長は、当センター発足時から相談員の育成に携われ、平成30年からは当センターの理事長として又令和3年からは京都府犯罪被害者支援連絡協議会の会長も務められ、犯罪被害者等の支援活動に多くの功績を挙げられたことから、この度の受章となりました。

おめでとうございます。



■ 伊根町と「犯罪被害者等支援の連携協力に関する協定書」を締結しました。

1月31日、伊根町（町長・吉本秀樹様）と「犯罪被害者等支援の連携協力に関する協定書」を締結しました。協力体制を確立した京都府内の市町村は13市町となりました。

■ 南丹市営バスと京丹波町営バスに犯罪被害者支援啓発ポスターを掲示していただきました。

南丹船井犯罪被害者支援連絡協議会（京都市南丹警察署、南丹市、京丹波町）様との共同事業として、犯罪被害者支援啓発ポスターを制作し、南丹市営バスと京丹波町営バス計34台の車内に掲示していただきました。

6月26日、南丹市営バス日吉営業所においてポスターの贈呈式が執り行われました。



■ 京都府トラック協会様より千羽鶴を寄贈していただきました。

昨年12月25日、京都府トラック協会女性部会部会長・反保広美様と交通対策委員会委員長・小寺俊郎様より、当センターに千羽鶴を寄贈していただきました。この千羽鶴は、11月に開催されたトラックフェスタ来場者の方と女性部会員の皆様が「安心・安全」への思いを込めて制作されたものです。



■ 機関紙「は一とめーる」の体裁を変更しました。

当センターの活動をより多くの皆様により深くご理解いただくため、当機関紙「は一とめーる」を、今回の第73号から、従来の＜白黒、8ページ、年3回発行＞から、＜カラー、12ページ、年2回＞に変更しました。これからもご愛読いただきますようお願いいたします。

温かいご支援ありがとうございます

令和6年12月～令和7年5月に
新たに賛助会員〈法人・団体〉となられた皆様です

(順不同・敬称略)

●新法人賛助会員の皆様です

- | | | |
|-------------|-------------|--------------------|
| ・株式会社鮎鶴 | ・誠都運輸倉庫株式会社 | ・セントラル警備保障株式会社京都支社 |
| ・京都府遊技業協同組合 | ・京都第二赤十字病院 | ・西京運輸株式会社 |
| ・ニシムラ株式会社 | ・京丹後市 | ・伏見稲荷大社 |

●新団体賛助会員の皆様です

- | | | |
|---------------|-------------|-----------|
| ・京都紫明ライオンズクラブ | ・田辺警察署むつみ会 | ・舞鶴地区保護司会 |
| ・京都府保護司会連合会 | ・網野ライオンズクラブ | ・乙訓地区保護司会 |
| ・京都市西京区保護司会 | | |

寄附型自動販売機の設定

新たに寄附型自動販売機を設置いただいた皆様です。

●犯罪被害者支援型自動販売機

- 株式会社吉岡商店様（京丹後市弥栄町）2台
株式会社ミラノ工務店様（京都市中京区鉾田町）
株式会社増田医科器械様（京都市伏見区竹田）

●交通安全啓発型自動販売機

- 社会福祉法人太陽の家様（京都市南区上鳥羽）
株式会社吉秀トラフィック様（八幡市下奈良）
有限会社親和エステート祇園店様（京都市東山区末吉町）
株式会社中川商会本部様（京都市西京区上桂）
京田辺クロスパーク様（京田辺市興戸）2台



株式会社吉岡商店様



社会福祉法人
太陽の家様

ご支援ありがとうございます。

高額ご寄附の紹介

故 齋藤多美子様

元京都府警察職員でいらした齋藤多美子様は、生前当センターに寄附したいという遺言を残しておられました。その遺志を継ぎ、この度お兄様より当センターに100万円のご寄附をいただきました。齋藤多美子様のお気持ちに敬意と謝意を表し、大切に使用させていただきます。

刑友会様

京都府警察の刑事の皆様の親睦会である刑友会様が令和7年3月31日で解散することに伴い、多額の積立金を当センターにご寄附いただきました。皆様のお気持ちに深く感謝し、これからも京都府警察の皆様と協力して被害者支援に尽力いたします。

ご支援ありがとうございました。



令和6年12月～令和7年5月に寄附を頂戴した方々です

【団体】

(順不同・敬称略)

京都府警察本部
京都府亀岡警察署
京都府下京警察署
京都府南警察署
南少年補導委員会 唐橋支部
南少年補導委員会 九条弘道支部
南少年補導委員会 山王支部
南少年補導委員会 陶化支部
刑友会

京都府右京警察署
京都府川端警察署
京都府中京警察署
南少年補導委員会
南少年補導委員会 吉祥院支部
南少年補導委員会 九条塔南支部
南少年補導委員会 祥栄支部
南少年補導委員会 東和支部
一般財団法人 京都府剣道連盟

京都府上京警察署
京都府下鴨警察署
京都府東山警察署
南少年補導委員会 上鳥羽支部
南少年補導委員会 九条支部
南少年補導委員会 久世支部
南少年補導委員会 祥豊支部
南少年補導委員会 南大内支部
公益財団法人 京都府暴力追放運動推進センター

ご支援ありがとうございました。

個人の正会員・賛助会員として当センターを経済的に支援いただいている皆様

(順不同・敬称略)

令和6年6月～令和7年5月に会費を頂戴した方々です

【正会員】

青木苗子	浅野昌弘	荒木佳枝	安齋航太	幾世直美	石田佳寿子	石飛 誠	五十川万紀
五十川正己	一圓裕二	市村加代子	伊藤真理子	伊藤雄三郎	井上義秀	岩見眞成	上田栄子
上田博之	牛丸公文	内山正元	大川原康夫	大澤千恵子	大寫清子	大島真子	大野 晋
大野陽介	大谷 元	大谷浩美	大谷 實	岡 和宏	緒方あゆみ	岡本昌子	岡本和男
小川哲史	小川由佳子	荻原卓司	奥田聡子	奥野 稔	奥村郁子	奥村克彦	奥村正雄
小谷英與	掛川典子	笠間士郎	桂 充弘	桂川田鶴子	加藤明久	金山晴美	金田 弘
唐津 博	川崎友巳	河崎佳子	川本哲郎	貴傳名賢治	久貝眞知子	倉橋有美子	五井武男
小越良夫	小槻浩史	小西博通	小林数美	小林喜代美	酒井豊彦	酒井雅彦	阪口純也
佐藤哲史	澤田久子	志賀和幸	四方 奨	白岩 親	新谷美重子	菅佐和子	鈴木隆一
十河太朗	高田治男	高田弘道	瀧口不二子	瀧田輝己	匠 輝雄	武 るり子	竹内美樹
武部吉輝	田中誠孝	田中彰寿	田中國雄	田中 伸	田中恆清	田中令子	谷 直之
谷 正徳	田原五郎	滕 憲之	知名純子	辻 健	筒井佐和	寺島 晃	寺西裕子
時田久美子	戸嶋賢一	富田哲也	富田光代	内藤みちよ	中 隆志	仲川 徹	中島 茂
中島 操	中瀬真弓	永田憲史	中田浩羽	中田政義	中田良成	中西美和	中西良子
中道教頭	中村勝雄	中村千晶	中村禮子	中山一己	成相千晶	西池紀子	西尾恵治
西田勝志	西野 匠	西村まさみ	野尻純孝	狭間優里	橋口昌史	波多野達哉	波多野元子
服部英俊	林 茂男	林山満彦	比嘉一美	姫野敦秀	平井きよ子	平井紀夫	平山木綿子
廣田富司	福田祥司	福田幸男	福林正行	藤岡一郎	藤村和正	藤本 馨	藤本章子
藤本晃央	富名腰隆	富名腰由美子	北條正崇	細川 治	堀池建次	前田秋丸	松井省吾
松井道宣	松下のり子	松谷正樹	松原久利	松村豊大	松本敏昭	松山美紀子	松山美智代
水嶋浩司	水嶋慎吾	南出 實	宮崎純一	向山雅子	村上晨一郎	村上ますみ	村上理絵子
村田純江	森川朋子	森田和代	森田秀朗	森本 晋	森本弘美	柳本 定	山極壽一
山崎加代子	山崎聖子	山下清隆	山下庸子	山下僚太	山田慶一	山根弘行	山本 真
山本美保	山本陽子	横井梅里	吉岡宏典	吉岡ゆかり	吉田誠司	吉田昌司	吉本直樹
和田千恵	匿名18名						

【個人賛助会員】

青山恵美子	赤井英俊	秋山敏章	明田治男	明致親吾	味見 豊	新子周二郎	新井喜範
家入紀幸	池上尚志	石津友子	泉 博基	井手一文	伊藤奈見	伊藤雅寿	犬井勇司
今山光一	上ヶ原 勳	上田千晴	上仲泰子	植村千秋	潮田惣之進	内海英明	宇畑 徹
大江輝幸	大久保静雄	大重尚忠	大志万耕次	大塚照美	大槻哲彦	大西 誠	大西康生
大野秀一	大橋久美	大橋秀之	大谷 太	大谷史代	岡島安孝	緒方留美子	岡本 茂
小川厚子	小川貞嘉	奥田英雄	奥田みよ子	小田武治	小野宏樹	小野由紀	小野慶秋
小長谷新二	香川 馨	笠井 翠	片山 斎	片山嘉章	桂 良彦	河毛清範	北井昭彦
北岡広行	北川啓子	木村正勝	清家政明	清瀬みさを	楠本伸一郎	楠本睦子	久保博人
久米弘子	桑村信慶	小嶋 操	小滝以和生	小西直樹	小林建太	小山雅子	小山義徳



坂口千重	佐古田孝典	佐藤純一	佐藤正志	佐藤昌昭	里内仁美	椎原奈美江	塩見貢司
志子喜武	島田 愛	島田明男	島田桃花	嶋村益廣	志茂洋文	下浦信和	下田勝幸
正田 実	菅井利一	杉本 愛	杉本 諒	鈴木克己	砂畑成包	角熊俊也	角熊葉子
相馬博美	高井直美	高尾直幸	高木三郎	高階奈津美	高田光郎	高野登志江	瀧本 智
田口康久	竹市雅子	竹下金男	竹村俊康	巽 英人	辰村喜美子	田中弘二	田中文恵
田中勇伍	棚上誠治朗	田邊政巳	谷 昌彦	谷口純一	谷口聖子	谷口信子	谷本拓郎
田淵敬英	塚原 稔	附田芳久	辻 香織	辻村英介	辻本尚史	土橋愛之助	堤 勇一郎
寺井亮彦	寺井 正	寺岡吉徳	寺田信夫	東郷一広	得田史朗	土佐卓司	富田明信
富田恭二	富永やす枝	友成修治	長江 豊	長尾 眞	長岡弘朗	中川研人	中川卓也
中久保光彦	中西恵一	中西達哉	中野雄介	長渕誠一	中俣三彦	永見まり子	中道宣人
中村修三	鍋島香織	鍋島フジ子	南部久美	西田陽子	西村重則	西元博史	沼本忠良
野一色康夫	野口幸夫	橋口紀子	橋本達雄	秦 一雄	畑 賢治	濱田 毅	原田一毅
原田哲夫	平田 徹	福井純一	藤岡眞司	藤田裕之	藤田美香	藤野 修	藤本武史
古林敦子	保崎恵理子	星野勝己	細見建司	堀 英明	堀口文昭	本郷 登	前田保則
正木 守	眞下 明	増田茂雄	松浦由加子	松田節憲	松本明弘	松本 央	丸岡由美子
丸山裕一	三浦芳敬	三科昭夫	水野 誠	三宅紀一	向山尚克	村田泰徳	室 義信
毛利真弓	森 一郎	森 恵子	森 智治	八木達雄	柳澤英輔	山内美樹	山内元二
山口康智	山崎享加	山崎みゆき	山下季雄	山代晃義	山田 晃	山田敬二	山田健一
山本育生	湯下秀樹	由良徳貴	吉岡正和	吉崎幸二	吉田治美	吉本行廣	和氣浩行
鷺江京子	わたなべ邦子	渡邊良三	渡邊留美	匿名30名			

いつもご支援いただきありがとうございます。

法人・団体の賛助会員として当センターを経済的に支援いただいている皆様

(順不同・敬称略)

【法人賛助会員】

企 業

株式会社島津製作所
株式会社GSユアサ
月桂冠株式会社
日本電気化学株式会社
オムロン株式会社
京セラ株式会社
ニチコン株式会社
株式会社村田製作所
彌榮自動車株式会社
株式会社堀場製作所
株式会社マイ
日本新薬株式会社
株式会社ビー・エス・アイ・コーポレーション
株式会社松原興産
ワタキューセイモア株式会社
株式会社ティ・プラス
吉村建設工業株式会社
株式会社ミラノ工務店
若林設備工業株式会社
樋口鉦泉株式会社
五洋パッケージ株式会社
山代印刷株式会社
村田機械株式会社
オーシャン貿易株式会社
三洋化成工業株式会社
株式会社日進製作所
株式会社京都環境保全公社
ひとひらく株式会社
株式会社ライオン事務機
ヤチョコアシシステム株式会社
株式会社ユタカ
株式会社ITP
宝ホールディングス株式会社
日新電機株式会社
オムロンエキスパートリンク株式会社
京都駅ビル開発株式会社
近建ビル管理株式会社

企 業

イクタグループ株式会社
株式会社SCREENホールディングス
株式会社ファーストフーズ
株式会社万代
日東精工株式会社
株式会社鮎鶴
誠都運輸倉庫株式会社
セントラル警備保障株式会社京都支社
西京運輸株式会社
ニシムラ株式会社

行 政

京都市市長会
京都府町村会
亀岡市
八幡市
福知山市
木津川市
南丹市
精華町
舞鶴市
綾部市
長岡京市
宇治市
京田辺市
笠置町
与謝野町
伊根町
京丹後市

学校法人

学校法人京都女子学園
学校法人京都精華大学

宗教法人

石清水八幡宮
本門佛立宗 宗務本庁
伏見稻荷大社

観光・サービス業

株式会社近鉄・都ホテルズ 都ホテル京都八条
株式会社近鉄・都ホテルズ ウェスティン都ホテル京都
嵯峨野観光鉄道株式会社
株式会社ジェイアール西日本伊勢丹

金融機関

株式会社京都銀行
京都中央信用金庫
京都信用金庫
大和証券株式会社京都支店
ジブラルタ生命保険株式会社京都支社

医療関係

一般社団法人京都府医師会
一般社団法人京都府臨床心理士会
洛和会音羽病院
一般社団法人京都府病院協会
一般社団法人京都市立病院協会
医療法人啓信会 京都きづ川病院
京都第二赤十字病院

その他

株式会社京都新聞ホールディングス
一般社団法人京都府トラック協会
一般社団法人京都府バス協会
京都司法書士会
一般社団法人京都自動車整備振興会
弁護士法人中村利雄法律事務所
公益財団法人京都府暴力追放運動推進センター
京都府遊技業協同組合



【団体賛助会員】

警察関係

京都府警察本部捜査第一課
京都府警察本部交通機動隊
京都府警察本部 交通企画課親交会
京都府警察本部 捜査第四課親睦会
京都府京丹後警察署
京都府舞鶴警察署
京都府下京警察署
京都府城陽警察署
京都府警友会
京都府警友会 八幡支部
京都府警友会 西京支部
京都府警友会 北支部
京都府警友会 中京支部
京都府警友会 綾部支部
京都府警友会 下鴨支部
京都府上京警察署 上京会
京都府福知山警察署 互助会
京都府北警察署 SORA 北会
京都府右京警察署 親仁会
京都府田辺警察署 むつみ会

警察関係

舞鶴防犯協会
福知山防犯協会
山科防犯協会
下鴨防犯協会
京丹後防犯協会
綾部防犯協会
宮津防犯協会
綴喜防犯協会
下京防犯協会
城陽防犯協会
下鴨暴力追放協議会
上京地域暴力対策協議会
全舞鶴交通安全協会
下鴨交通安全協会
綾部交通安全協会
福知山交通安全協会
右京交通安全協会
亀岡交通安全協会
下京交通安全協会

社会福祉関係

春日住民福祉協議会
京田辺市社会福祉協議会
社会福祉法人八幡市社会福祉協議会
社会福祉法人井手町社会福祉協議会
社会福祉法人宇治田原町社会福祉協議会
舞鶴東地区更生保護女性会
舞鶴西地区更生保護女性会
綴喜郡民生児童委員協議会
京田辺市民生児童委員協議会
京都精神保健福祉士協会
山科区保護司会
相楽保護区保護司会
舞鶴地区保護司会
京都府保護司会連合会
乙訓地区保護司会
京都市西京区保護司会

その他

京都府男女共同参画センター
上京東部医師会
京都経営者協会
四条繁栄会商店街振興組合
京都府指定自動車教習所協会
東山区シニアクラブ
東山料理飲食業組合
株式会社京都科学
株式会社ハヤシ不動産
京都精神神経科診療所協会
京都ミレニアムライオンズクラブ
京都薫風ライオンズクラブ
京都紫明ライオンズクラブ
網野ライオンズクラブ

●寄附型自動販売機を設置いただいている皆様

(順不同・敬称略)

【被害者支援自動販売機】

大森神社奉賛会
株式会社霞月
合同会社ビバ&サンガ
京都府立堂本印象美術館
日新電機株式会社
株式会社ミラノ工務店
吉忠株式会社

株式会社奥村組
カラオケ WOOPY
株式会社 GS ユアサ
同志社香里中学校・高等学校
株式会社阪急商業開発
株式会社村田製作所
吉村建設工業株式会社

オムロン株式会社
月桂冠株式会社
株式会社島津製作所
ニチコン株式会社
北都開発株式会社
ユニチカ株式会社
若林設備工業株式会社

オムロンヘルスケア株式会社
金戒光明寺
宝酒造株式会社
株式会社日進製作所グループ
株式会社増田医科器械
株式会社吉岡商店
ワコール株式会社

【交通安全啓発自動販売機】

三洋化成工業株式会社
株式会社エフプロダクト
近建ビル管理株式会社
伏見稲荷大社
西京運輸株式会社
有限会社親和エステート

ユニチカスパークライト株式会社
株式会社日本医学臨床検査研究所
牛若商事株式会社
株式会社京都自動車会館
精華町地域福祉センターかしのき苑
社会福祉法人太陽の家

株式会社ファーストフーズ
帝産京都自動車労働組合
京都広域生コンクリート協同組合
八幡市公園施設事業団さんめい近隣公園
ダイセーエプリー二十四株式会社
株式会社中川商会

ワタキューセイモア株式会社
ナカライテスク株式会社
学校法人京都府自動車学校
JPF 京都向日町競輪場
株式会社吉秀トラフィック
京田辺クロスパーク

いつもご支援いただきありがとうございます。

財政支援のお願い

犯罪被害者への支援件数は、10年前の2倍に増加しました。
経費支出が増加する一方で、支援はすべて無償で行っているため収入は増えず、赤字が拡大する構造になっています。
私たちの活動は、市民の皆様のご理解とご支援によって成り立っています。
犯罪被害者の皆様への支援は私たちが尽力いたします。
私たちへの財政支援をお願いいたします。

財政ご支援は

- 賛助会員になっていただく。
- 寄附型自動販売機を設置いただく。
- ホンデリングを実施いただく。
- ご寄附をいただく。

など様々な方法がございます。

事務局までお気軽にお問い合わせください。皆様のご支援をお待ちしています。

ホームページもご覧ください <https://kvsc.kyoto.jp/>

発行者 公益社団法人
京都犯罪被害者支援センター
理事長 山下俊幸

事務局 TEL&FAX 075-415-3008
E-mail k7830@kvsc.kyoto.jp
印刷 株式会社ティ・プラス



お願い：ご住所等、お届け内容に変更のあった方は、お手数ですが事務局までご一報くださいますようお願いいたします。